回覧

「石神台ガーディアン」2020年5月報告

2020（令和2年）年5月22日
石神台ガーディアン代表　中野靖久
編集者　小野修司

1） 団員数

昼間合同巡回実施者：	２８名
夜間合同巡回実施者：	２３名
青パト巡回実施者：（同乗者を含む）	３名
以上のどれかの巡回をしている人数：	５１名

個人的に巡回している方70名を加えると、トータル121名です。
やはり夜巡団員が少なくなっています。　　団員募集中！！

2） 4月16日～5月15日の巡回実施状況（夜の２丁目３丁目だけの巡回となりました。）

✓　**合同歩行パトロール （自分の住む丁目を中心に実施）**

	昼		夜	
	実施日数	延べ参加者	実施日数	延べ参加者
１丁目			１０ 日	名
２丁目				４６名
３丁目				３０名
全体				７６名

※昼間の巡回は1丁目～3丁目共に5月度は中止となりました。夜巡回は先月同様、2丁目と3丁目は自己責任、自主巡回となりました。密にならないよう、会話も控えめな巡回となりました。ガーディアン今月も途切れずに繋がりました。巡回出来る事に感謝です。強い絆を感じながら巡回をしています。

青色回転灯装着車によるパトロール　（石神台内を現在は3台の登録車で随時実施）
５月：実施車両数：１台　実施回数：８回
延べ走行時間：６時間１０分　　走行距離：４９km

3） 不審車両と区別するステッカーの表示について

	調査した夜間日間			
	路上駐車台数	ｽﾃｯｶｰ有数	ｽﾃｯｶｰ有比率	９０%を目標にしていますので住民の皆様に更にご協力をお願いいたします。
１丁目	台	台	%	
２丁目	７台	５台	７１．４%	
３丁目	１２台	６台	５０．０%	
全体	１９台	１１台	５７．９%	

今月も2丁目、3丁目だけですから参考程度に見てください。

4） ガーディアンの気持ち…

それは3月9日から始まりました。

今まで16年続いていた公民館に夜8時に集合して、各丁目に分かれて巡回して、また公民館に戻って反省会をする、というパターンが崩れて、公民館に集まることなく、各丁目が自己責任で自主的に巡回することになったのです。

中国の武漢から始まった「新型コロナウィルス感染症」がいつしか我国にも広がってきて、3つの密（密閉、密集、密接）を避ける為に国→県→市町村へと降りて来て公民館が封鎖されたのです。当初は3月末頃までが4月末まで、そして5月いっぱい、やがて8月末までとなって、いつ収束するか？誰も分からない状況となりました。

そんな訳で石神台ガーディアンとしては正式には「コロナウィルス」が終息するまでは中止となったのです。

しかし2丁目と3丁目の有志は3密を避ける形で今月も継続することが出来ました。途切れることなく巡回出来る喜びを感じながら，今日も元気でやってきました。　　（3丁目テツ＆ゴン）

5） 大磯警察より

＊オレオレ詐欺は今年になって2月に1件、4月に2件、5月に1件で合計4件、金額は555万円になっています。 4件中3件が大磯で発生しています。何回も繰り返し、注意を喚起していますが、後を絶ちません。息子や、孫は可愛いかも知れませんが、お金の話が出たら、息子でもまず疑って下さい。身近な人や警察に相談してください。

＊先月、国府新宿と国府本郷で3件の忍び込み、居空き事件が発生しました。油断することなく戸締りは再確認してください。

6）編集部より

＊先月に続いて今月もまた、公民館の使用が5月27日まで使用禁止になった為、夜の巡回は自主巡回となり2丁目、3丁目のみ各公園から公園までの巡回となりました。

＊「緊急事態宣言」は神奈川県は5月末まで延長され、公民館の使用も6月末まで出来なくなりました。 いつ収束（終息）するか、全く予測が出来ませんが、石神台まで感染が広がらないことを祈るとともに、終息宣言が出て、また昼も夜も楽しく巡回が出来る様に願うばかりです。

挨拶で犯罪なくそう石神台

石神台ホームページ

https://ishigamidai.com　海の見える街　大磯町石神台　検索

大磯警察 生沢駐在所だより（ふれあいパトロールたかとり）は：

http://www.police.pref.kanagawa.jp/ps/69ps/69pic/69004_12.pdf

7）　番外・付録・おまけ…子と離され一晩泣き続けた母牛

小学校低学年の頃のこと、毎年１回、子牛の競り市が私の住む村で行われていました。

　その朝、子牛を連れた両親と一緒に出掛けました。大勢の観客と家畜商のおじさんたちが見守る中，子牛を引いた父が柵の中へ。１周する間に子牛の値が徐々に上がっていきます。

　思いの外高値が付いたので両親は大喜びです。当時は高値で珍しかったバナナを買ってくれ、私も嬉しかったのを覚えています。

　しかし帰り道。一緒に連れて行った、あの可愛い子牛の姿はもうありません。

家に近づくにつれ、「モオー、モオー」という大きな泣き声が聞こえてきました。母牛が子牛を探して泣き叫んでいたのです。

　その夜、母牛は泣いて、泣いて…夜通し泣いていました。私も布団の中で、一緒になってオイオイ泣き続けました。翌朝には声もかすれ、それでもなお出ない声で泣いている母牛。その顔を見ると、ドングリ眼の下に涙の筋が何本もついていました。

今も母牛の胸中を思うと涙がこぼれてきます。

（朝日新聞　２０２０年４月４日　声欄…〈みんなで語ろう→「涙」より）

こんなことが、本当にあるのだろうか？

犬や猫の泣かせる話は沢山見たり、聞いたりしてきましたが、牛心とでもいうのでしょうか？

人間だけでなく動物の世界でも子供を思う気持ちは一緒ですね。

こんな悲しい事が…久し振りに悲しい物語を皆さんにお届けします。　　（テツ＆ゴン）